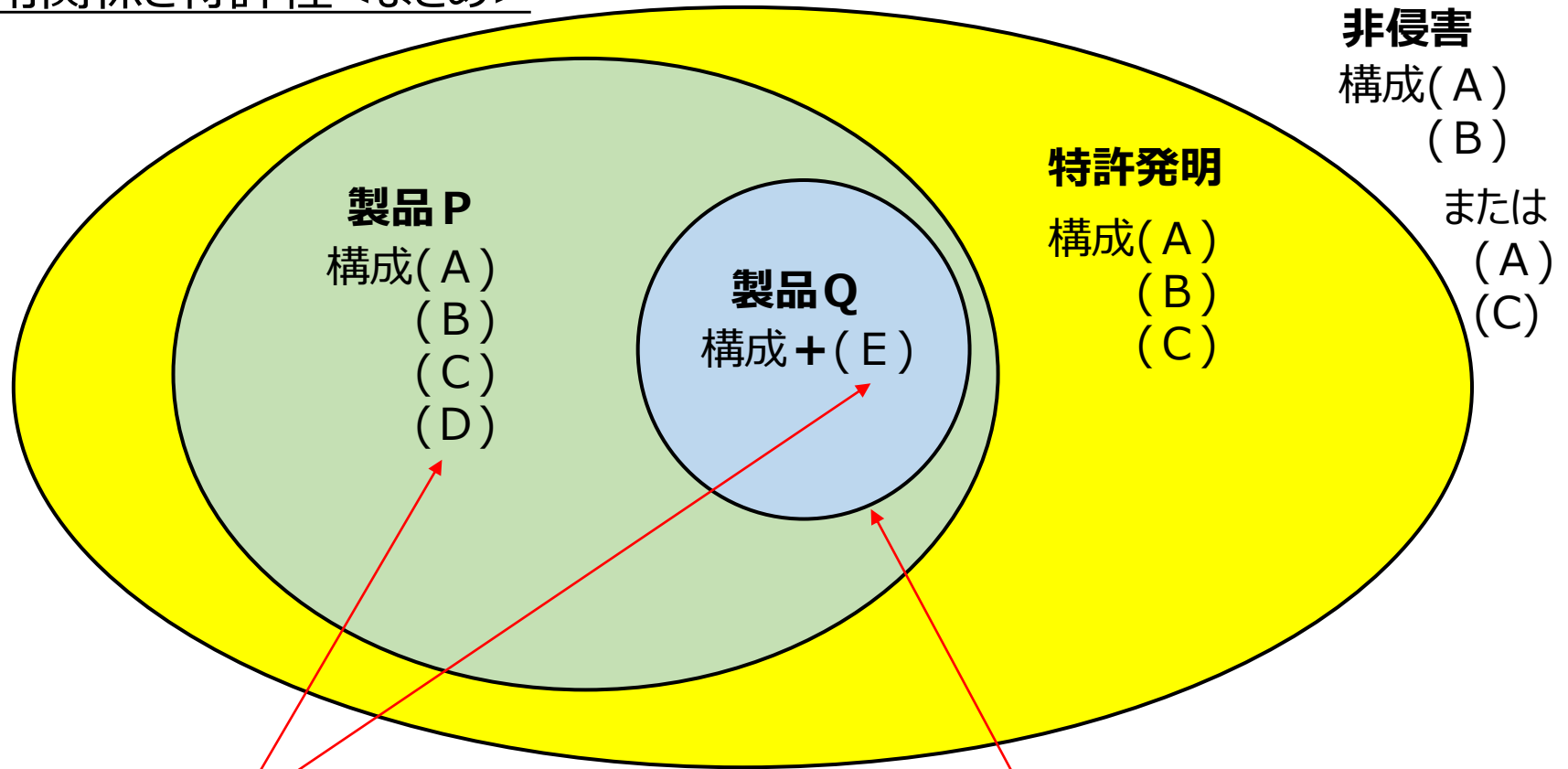


## 利用関係と特許性<まとめ>



構成D、Eに新規性・進歩性あれば、特許化可能性あり。⇒利用発明

製品Pが特許化されると、製品Qが特許化できても、2件の特許の実施許諾等がないと製品化できない。